

七月よみとりおけいこ（低）②

なまえ（

今、ハスの花がさいていますよ。ほうこんごういんや天りゆうじなど、ハスのきれいなお寺はたくさんあります。ではハスはなぜお寺に多いのでしょうか？それにはちゃんとわけがあります。

そもそもハスは古代インドで、聖なる花とされました。きたないどろをすつてきれいにさくからです。

今から二千五百年も前、仏きようが生まれましたが、仏きようのおしえの中でもハスはすばらしい花とされ、仏きようの中にはハスを持つすがたであらわされるものも出てきました。

仏きようのおしえでは、人は生きているうちにいいことをいっぱいすれば、じごくにおちたりせず、ごくらくに生まれかわったのしくくらせるといのですが、ごくらくにさくのがハスとされました。お寺にたくさんうえられているのはこういうわけなのです。

ところでハスのねっこはおいしいですね。れんこんです。ハスのくきにもれんこんとおなじようにあながあいています。ハスのみは、たいわんなどではおやつとしてふつうにたべられます。ハスののはっぱは、おぼんのおそなえをもりつけるときのしきものにつかわれます。水をはじくので、水玉がころがると、見ていてたのしいです。

よくスイレンとハスをまちがえる人がいますが、スイレンは水めんすれすれにやや小ぶりの花をつけるのに対し、ハスはけつこう水上にたかくのびあがってさくので、それでみわけてください。

じょう文ハスとか大がハスとかいわれるハスは約六千年まえのタネからめが出たものなんですよ。すごいですね。おんどくサイン↓

① 上の文はなんのはなしでしょうか？

② なぜハスは聖なる花とされるのでしょうか？

③ 仏きようはいつごろ生まれたのでしょうか？

④ じごくにおちないようにするにはどうしたらいいですか？

⑤ じごくの反対ことばはなんですか？

⑥ ハスのねっこの正体は？

⑦ ハスのみをふつうに食べるのはどこの人？

⑧ じょう文ハスのタネは何年間ねむっていましたか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） れんこんに水玉がつくと、ころがる。

（ ） ハスのくきにも穴があいている。

（ ） じごくのにわにはハスがさいている。

⑩ 上の文のかんそうを五行でまとめましょう。

できばえは？

